

こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

発行：2015年2月22日
連絡先：日本共産党伏見地区委員会
TEL(611)9135 fax(602)9117



共产党を伸ばして、いのち・くらし守る府市政を!! 府民大集会に6500人!!



4月のいっせい地方選挙候補者が勢ぞろい。(写真上：中段左から3人目に西野市議)会場には色とりどりの要求タペストリーが飾られた。(写真右)

市政報告

来年度予算案が提案されました

全会計で1兆6932億円（一般会計7504億円、特別会計6893億円、公営企業会計2535億円）が提案されました。198億円の財源不足といい、職員を150人削減し、この8年間で2940人の職員を減らしたと報告されています。その他事業見直しや資産有効活用と市有地の売却などで81億円を捻出したと報告されました。

2015年度予算は、市長2期目の最終年度の予算で、安倍内閣のアベノミクス地方版・「地方創生」押しつけと軌を一にして「京プランの総仕上げと総点検の年」（市長年頭訓示）としています。

一方で、市民の皆さんと日本共産党市会議員団が求め続けてきた高すぎる国民健康保険料は、1人当たり年間平均2532円の引き下げが提案されました。最高限度額の83万円への引き上げはありますが、9割超の皆さんの引き下げは、国保の制度が始まって以来初めてのことでの「いのちの署名」の運動の成果です。さらに運動を広げましょう。

2月8日に敬老乗車証制度の改悪に反対する署名の第5次分4060人分が提出されました。これまでに提出された署名は、合計1万6900人分になりました。市役所前で集会を開いた後、河原町通りを北上し、丸太町を左折、寺町通りから市役所までをパレードした後、署名が提出され、西野さち子市議が参加しました。

署名提出の中で、質疑応答があり、

敬老乗車証の改悪に
反対!
4千筆の署名届ける

方選挙での日本共産党の躍進が、安部内閣の暴走をストップ！政治を変える府民大集会」が開かれ6千500人がつどいました。無党派の青年がデモで要求を再現し、元海上自衛隊の海曹が応援演説をされました。また、同志社大学の浜矩子教授がメッセージを寄せられました。いつせい地方選挙の予定候補者全員が登壇して紹介されました。

山下芳生書記局長から世界から無法なテロを一掃するための訴えや京都府や京都市の「京プラン」が市民生活を壊している実態が告発され、4月のいっせい地

10月は今まで更新するといふことで、来年10月までは変更がないという話がありました。今の制度で来年10月までは大丈夫だということです。市民の声が市政を動かしました。敬老乗車証の制度改悪ができなくなっています。さらに運動を広げ、1年伸ばしひでがんばりましょう。



方選挙での日本共産党の躍進が、安部内閣の暴走をストップさせる大きな力になることが訴えられました。会場には、願いが寄せられたタペストリーが飾られて、熱気があふれていました。

そのときに対応した理事者からは、「審議会の考えに構築していく」との立場を変えない説明がありました。しかし、今年

10月は今まで更新するといふことで、来年10月までは変更がないといふ話がありました。今の制度で来年10月までは大丈夫だということです。市民の声が市政を動かしました。敬老乗車証の制度改悪ができなくなっています。さらに運動を広げ、1年伸ばしひでがんばりましょう。